

報道機関各位

2025年1月31日

学校法人 塚本学院

大阪芸術大学

2025年大阪・関西万博「大阪ウィーク～春・夏・秋～」
キービジュアル最優秀賞に
デザイン美術学科 三木優さんの作品が決定！



大阪芸術大学短期大学部（所在地：兵庫県伊丹市／学長：塚本英邦）デザイン美術学科グラフィックデザインコースの三木優さんの作品が、「大阪ウィーク～春・夏・秋～」のキービジュアルとして、最優秀賞に選ばれました。ポスターやサインージ広告、チラシ、公式ホームページの広報媒体等に展開され、広く全国に発信されます。

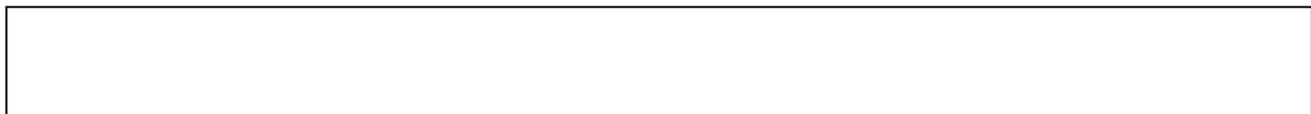
「大阪ウィーク～春・夏・秋～」は大阪・関西万博において、大阪の各地域の魅力を、国内外からの来場者に広くアピールする一大イベント。「祭」をテーマに万博会期中の35日に渡って開催され、会場を賑やかに盛り上げる、関西万博の目玉ともいえるスケールの大きなイベントです。1月21日には「シティプラザ大阪」において、「大阪ウィーク～春・夏・秋～」メディア発表会とともに、キービジュアルの授賞式が執り行われました。

■ 「見る人をワクワクさせる！」と、三木優さんの作品が「最優秀賞」に決定

三木優さんの作品は、春、夏、秋それぞれを象徴する「だんじり」「盆踊り」「ジャズ（音楽）」の3つのパートをカラフルに表現。「だんじり」は直線、「盆踊り」は曲線、「ジャズ」は波線を使い、「大阪ウィーク～春・夏・秋～」のキャッチフレーズである「笑おう！踊ろう！歌おう！」に合わせて、キャラクターの表情に変化をつけました。

審査員は（公社）2025 年大阪国際博覧会協会シニアアドバイザーでありファッションデザイナーのコシノジュンコ氏を座長に、吉村洋文大阪府知事、横山英幸大阪市長、2025 年大阪国際博覧会協会広報・プロモーションディレクターの楠本淳氏、（株）ケイオス代表取締役 CEO の澤田充氏の 5 名。授賞式では、審査会では三木さんの作品が高く評価され、即座に決定したことが報告されました。

コシノジュンコ氏は「見た瞬間にいいなと思いました。メリハリがあって街中がパツと明るくなる。見ただけで『何かありそう』と期待感を高めてくれる。デザイン的にもモダンで美しく、洗練されています」と作品の魅力を称えられました。吉村知事は「スタイリッシュでカッコいい。一枚でもインパクトがあるが、連判で使われてポスターやフラッグが並んでいる様子を想像するとワクワクします」。他にも「大阪の魅力が伝わってくる」「想像力をかき立てる」「イベントの楽しさが表現されている」など、さまざまな賛辞が寄せられました。三木さんは授賞式の壇上で「まだ実感が湧きませんが、最優秀賞を頂けて本当にうれしいです。大阪らしい遊び心をどこかに表したいと思い、線やフォルム、カラーにこだわりました」と語りました。



■受賞者インタビュー



デザイン美術学科グラフィックデザインコース【グラフィックデザイン専攻】1年生 三木優さん

■どんなところに工夫しましたか。

三木さん：ヴィヴィッドな色が好きで、春・夏・秋それぞれのキーカラーは人目を惹く色を選びました。曲線や直線など「線」の使い分けで、おもしろみを出すなど、「シンプルでわかりやすい」ということを常に意識していました。

■シンプルな訴求力は大切ですが、表現するとなると難しいですね。

三木さん：実は提出する一週間前まで、違うビジュアルを考えていたんです。もう少しで完成という段階になって、どこか釈然としない気持ちが湧いてきてリセットしました。それからは急ピッチでアイデアを練り直し、休日返上で仕上げました。「わかりやすさ」が大切だと気づいたのは、担当の先生のアドバイスを受けたからです。自己表現の一環である「グラフィックデザイン」と、集客や告知をするための「広告」とは目的が違う、万人に向けた広告はわかりやすくしなければならない、と。すごく納得できる言葉でした。

■万博が開催され、キービジュアルが関西はもとより、全国の様々な場所にあふれます。どんな気持ちですか。

三木さん：すごくうれしいです。でもこんな体験は初めてなので、自分がどんな気持ちになるかまったく予想が付きません。どうなるのかワクワクします。

【審査員コメント】

- ・大阪の新しい祭りの形をアーティスティックにモダンに表現した未来を感じる作品である。
- ・作品のグラフィックがたくさん並んだ時を想像すると、とても大胆でインパクトを感じることができる。
- ・ポスターや大型化したとき、シンプルでスタイリッシュで大胆な感じを受ける。
- ・キャッチコピーとの相性も良く、様々な広報展開を想像することができる。
- ・パッと見たときに、シンプルで目が留まる。かっこよさを表現している。
- ・視認性の良さも評価できる。

■大阪ウィーク開催概要

万博会期中の春・夏・秋の3期（計35日間）にわたって、大阪ウィーク全体で約400件のプログラムを実施予定。EXPOアリーナでは「大阪の祭！～EXPO2025春の陣～」、「真夏の陣」、「秋の陣」、EXPOメッセでは、「地域の魅力発見ツアー～大阪43市町村の見どころ～」、EXPOホール、ギャラリー、ポップアップステージ、大阪ヘルスケアパビリオンでは、大阪各地の祭やダンス、音楽、食や伝統文化、アート、産業・技術などのイベントを多数展開する予定です。

※大阪ウィーク公式サイト：<https://www.expo-osaka2025.com/osakaweek/>

※開催概要・イベントカレンダー：

https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/banpakusuishin/0000644463.html#event_cal

